

<金標準、戦争要因の上昇は短命で終わるのが定説・・・>



(出所：オアシス)

ロンドンで米中通商協議を開催し、レアアースの輸出規制強化を受けて品不足の悪影響を打開する協議が行われ、スイス・ジュネーブの合意要綱を履行する事で合意している。ただロンドンで行われた合意内容については公表されないため、一抹の不安材料となる可能性は否めない。また週末にイスラエル軍がイラクの核施設や革命防衛隊の施設、革命防衛隊の幹部 2 名に核開発の研究員 1 名を殺害するなど、イスラエルは生存権を盾にイランに先制攻撃を行っている。またイランもイスラエルに向けて数 100 機のドローン攻撃、数 100 発の弾道ミサイルで報復攻撃を実施するなど中東における地政学的なリスクの高まりを受け、逃避需要から金標準先物は高値である 15843 円を上回ると 16085 円まで値を飛ばしている。ただ 9・11 のテロや湾岸戦争など紛争に伴う金価格の上昇は、過去の経験則からも短命で終わる値動きが定説であり、またイスラエルとイランは国境が接していない事から攻撃は限定的になる可能性が高く、ピークを打つ値動きには注意したいと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルも切り上げている。RCI は短期が切り上げ、長期は上昇している。特に日足と 10 日移動平均線が乖離しており、15380 円へ向けた修正の動きには注意が必要である。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,610,000 円(2025 年 6 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 6 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>